

なるせだにニュース

平成19年
12月
第20号

肴沢橋上部工工事 本格始動

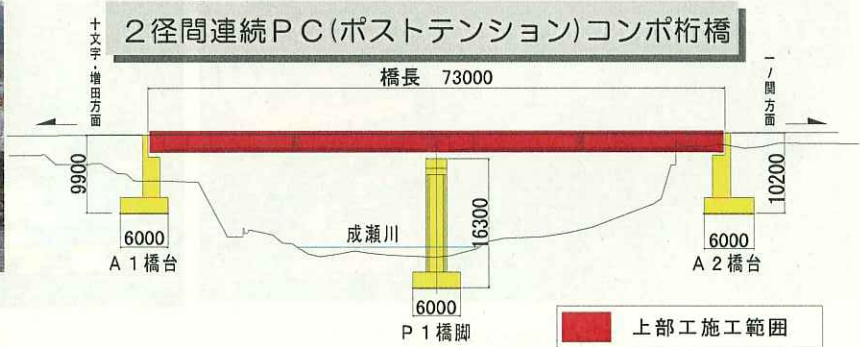
成瀬ダム下流工事用道路肴沢橋上部工工事は、東成瀬村岩井川地区において、橋梁上部工工事を行う工事です。

岩井川地区は、成瀬ダム事業に伴う工事車両の増大が予想されるため、効率的な車両運行及び地域住民の安全を確保するため、平成13年度から工事を行っており、昨年の下部工工事に引き続き今年度は上部工工事を実施しています。

特徴は、PCコンポ橋を採用しており、主桁間隔を広くすることで主桁本数を減らし、コスト縮減を図った合理化橋となっています。



(架設桁設置状況)



(肴沢橋橋梁一般図)



(主桁緊張状況)

工場製作した主桁を現地で組み立て、緊張力を導入し1本の橋桁とします。



(主桁組立状況)

工事期間は来年3月までで、厳冬期で施工も大変ですが、安全には十分配慮して工事を行いますので、地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力お願い致します。

成瀬ダム環境検討委員会開催

湯沢河川国道事務所では、平成19年11月29日東成瀬村内において、第2回「成瀬ダム環境検討委員会」を開催しました。委員会は委員長である小笠原壽秋田大学名誉教授の他、専門的な見知を有する学識経験者の8名で構成され、今回は第1回で討議された環境検討項目に基づいた予測手法や検討方法により影響予測した内容について審議・提言を頂きました。事業者としては、今後の保全措置検討及び評価に反映させていきたいと考えています。



1号トンネル工事では、現在トンネル内側のコンクリートを施工しています（覆工といいます）。スライドセントルと呼ばれる移動式型枠を1スパン（10.5m）毎にセットして、生コン車によりコンクリートを運搬し、コンクリートポンプ車で覆工背面に隙間が残らないよう施工します。



（スライドセントル）



（覆工作業状況）

成瀬ダム現場見学者数

12月15日現在、成瀬ダム現場見学者数は、老若男女合わせて869名となりました。国土交通省では昨年から引き続き【知って納得！公共事業50万人プロジェクト】の取り組みを行っており、ダム現場見学者数は昨年度比で50%増となりました。ダム事業の進捗を見てみたい方や新技術の活用工事現場であることなどから、多種多様な方々が現場見学に訪れて頂きました。

これから真冬の厳しい時期となり、現場見学も一時終了となりますが、来年度以降も現場見学を続けて参りますので、ご連絡方よろしくお願ひ致します。

発行 国土交通省 湯沢河川国道事務所 開発工事課
〒012-0863 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
TEL 0183-72-3170 FAX 0183-72-9722
湯沢河川国道事務所HPアドレス
<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

成瀬ダム対策室（秋田県東成瀬村役場 内）
〒019-0801
秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
TEL 0182-47-3409
FAX 0182-47-3290